

2013年度第5回(通算 第249回)幹事校会記録

日時：2014年2月19日(水)14時00分～17時00分

場所：大阪産業大学 梅田サテライトキャンパス 大阪駅前第3ビル19階

出席(13校20名)

追手門学院大学	(田中 耕二郎)
大阪音楽大学	(大前 哲彦)
大阪工業大学	(酒井 恵子)
大阪産業大学	(谷田 信一)(西口 利文)(山田 全紀)
関西大学	(原 徹)
関西学院大学	(富江 英俊)(南本 長穂)
近畿大学	(杉浦 健)(田中 保和)
神戸女子大学	(多畑 寿城)
神戸女子短期大学	(吉泉 和憲)
四天王寺大学	(植田 義幸)(上野 淳子)(高岸 由香子)(八木 成和)
摂南大学	(朝日 素明)
姫路獨協大学	(中嶋 佐恵子)
桃山学院大学	(島田 勝正)

議長 山田全紀

記録 中嶋佐恵子

議事

(1) 2013年度第4回幹事校会記録の確認

以下を修正することが了承された。

- ・p.2 (2) 2行目 行われた →行われた。
- ・p.3 (6) 梅本氏 →根来実穂氏
- ・p.4 (9) 佐野秀樹氏 →佐野秀行氏

2014^2015 →2014～2015、

阪神教協レポート →阪神教協リポート

(2) 全私教協理事会報告、次期理事の選出

①西口利文理事より1月26日に名城大学で開催された第5回理事会の報告があった。

主な内容は以下のとおりである。

- ・全私教協専門委員会の運営規定について事務局より申し合わせ案が示され、その方向で検討することとなった。ただし委員の定員については、改めて3月に検討することとなった。
- ・次期役員として選出された大学名、候補者名が報告された。
- ・第34回研究大会(2014年度)の準備、企画について検討した。シンポジウムについては阪神地区からシンポジストを1名出すよう依頼することとなり、多畑寿城氏を推薦する声があった。
- ・「私立大学の特色ある教職課程事例集(仮題)」の応募状況の報告があり、WG等による審査の結果、阪神地区からは12大学12件が掲載候補となっている。大学の規模、地域、カテゴリーのバランスを考慮して、追加執筆を依頼する必要が生じたので各地区に推薦を依頼することとなった。

- ・第34回研究大会プログラム・要旨集等の原稿依頼について報告があった。
- ・2014—2015 年度担当—地区協議会会長校・会長／事務局長校・事務局長についての報告があり、各地区において決定次第、全私教協事務局へ連絡することが要請された。阪神教協の事務局校・事務局長について報告した。

②西口利文理事の報告を受け、第34回研究大会のシンポジストとして多畑寿城氏を推薦すること、各専門委員会の委員（下記の議題（3））を決めた。また、谷田信一氏から「私立大学の特色ある教職課程事例集（仮題）」について、WG（教員養成制度検討委員会）における審査について報告があった。

（3）全私教協各専門委員会の次期委員の推薦について

次期委員を以下のように決めた。

- ・教員免許事務検討委員会—教員免許事務セミナーに一任し、2名選ぶ。
- ・学校インターンシップ等検討委員会—朝日素明氏、富江英俊氏
- ・教員養成制度検討委員会—疋田祥人氏（大阪工業大学）、藤本敦夫氏（大阪音楽大学）
- ・編集委員会—西口利文氏

（4）2014 年度全私教協研究大会における分科会の運営について

司会者：田中耕二郎氏、山田全紀氏

発表者：アンケートのまとめと分析—西口利文氏

個別事例—富江英俊氏、杉浦健氏、島田勝正氏

とすることが承認された。また前回の幹事校会で既に決定しているとおり、

記録：八木成和氏

とすることが確認された。

（5）2014 年度阪神教協第1回課題研究会の企画・運営について

全私教協研究大会分科会に向けて、それと同様の企画とすることが承認された。それ以外には、「私立大学の特色ある教職課程事例集（仮題）」に掲載予定の事例からの報告、教職実践演習の実践交流、の提案があった。

（6）2016 年度～2017 年度阪神教協事務局校について

関西学院大学に承諾されたことが報告され、承認された。

（7）阪神教協レポート No.37 編集について

- ・八木氏より、2月末締め切りで原稿を依頼しており、3月に校正を終えるようすすめているとの報告があった。
- ・西口氏より、「阪神教協レポート」バックナンバーを HP に掲載することについて問題提起があった。No.35 以降は HP に掲載することが規程に明文化されているので問題ないが、それ以前のものについてはどうするか、掲載せずに問い合わせがあった場合には紙媒体に代わるものとしてファイルをお届けすることにしたらどうか、という内容であった。

検討の結果、当面は規程に明文化されている分のみをアップロードし、それ以前のは凍結する、アップロードされない分も準備が整った時点で目次のみは掲載する、ことが了承された。

(8) 阪神教協教職課程データベース（平成 25 年度版）について

事務局より、データベースのデータ提出の締め切りを延ばしてほしいという要望があったことが報告された。検討の結果、このままとすることにし、来年度も同様の時期におこなうこととなった。

(9) 教員免許事務セミナーの開催について

原徹氏より、2月22日に開催予定の教員免許事務セミナーについて報告があった。

(10) 今後の記録担当について

特になし

(11) その他

- ・大前哲彦氏より、「大阪府介護等体験実施連絡協議会の開催について」の内容が紹介され、大前氏の後任として当該会議へ出席する者を決めること、その者の氏名を付してこの文書を当該会議座長に提出すること、が要望された。また、当該会議において地域教師教育機構を体現する連携ができてきていることが報告された。検討の結果、八木氏が船所武志氏（四天王寺大学）に打診することとなり、文書と「大阪府介護等体験実施連絡協議会設置要綱（改正案）」について事務局と大前氏で後日検討することとなった。
- ・西口氏より 2013 年度「教職課程運営に関する研究交流集会」の収支報告があり、承認された。
- ・事務局より、新幹事校について、神戸学院大学に打診したところ無理との返事があったこと、大阪人間科学大学は会計監査の担当になっているため無理であること、関西福祉大学、奈良大学も無理との返事があったことが報告された。議論の結果、奈良大学に再度依頼すること、畿央大学に依頼すること、が了承された。

議事終了後、今年度で定年退職予定の大前氏より挨拶があった。